

能登ヒバ楽器プロジェクト

ATENOTE

“

持続可能な木材「能登ヒバ」を楽器に

「能登ヒバ」は“歪んで使いにくい木”として敬遠されてきました。しかし、それは木材としての「人工高温乾燥」によるもので、低温で自然に乾燥させると、能登ヒバ本来の性能がどのようなジャンルに活かせるようになるでしょうか。

良い楽器からは「深みのある木の音、森の音」がします。能登ヒバは、能登半島に自然に生えた木と言われており、最良の材質を誇ります。これを楽器に活かしてみよう、というのがこの「ATENOTE」の試みです。

宝石のように大切に育てられる「能登ヒバ」を目指して。私達はこのプロジェクトを通し、能登ヒバの個性と「持続可能な環境」を未来に残していくことを目指しています。

環境活動家 田中 優

”

ATENOTEでは現在、共同開発者や試奏希望者等を募集しております。
楽器の購入・試奏や、共同開発、運営会社に関するお問い合わせはお電話よりご連絡ください。

ATENOTE 運営・企画／フルタニランバー株式会社 TEL.076-238-5633



atenote.com

人と里山が奏でる 悠久のサウンド「アテノオト」

ATENOTEは石川県の県木である能登ヒバ(別名:档/アテ)を使用して楽器をつくり、“人”と“自然”をつなぐ地域材活性化プロジェクトです。

能登ヒバを産出する里山は、人と自然が長い年月をかけて親しく寄り添い、築き上げた財産です。しかし、近年の国内産木材需要の低下や後継者不足によって、里山の豊かな循環に大きな乱れが生まれ始めています。この課題に対し、私たちは「林業に活気を取り戻すこと」こそが自然環境を守り、持続可能な社会と動物や人を守ることに繋がると考えています。

能登ヒバには、これまでも抗菌・アロマ効果があることが知られていましたが、このプロジェクトで新たに楽器としての利用価値を見出しました。これまで楽器に最適とされてきた天然高級銘木に代わる次世代楽器材としての素晴らしい価値に着目しています。

この先の未来も自然とひとつとなって歩み続けるために、ATENOTEは様々な楽器メーカーと協力し、清らかな里山の音を世界に響かせます。

能登ヒバを楽器材として使用するための工夫

高速木材乾燥技術「woodbe」で 経年変化を抑えた材に



改質水と抗火石を使った高速木材乾燥技術。乾燥時間を短縮するだけでなく、水分を効率よく蒸発させることで、カビ、割れ、反り、曲がりを抑えた高品質な木材を作ることができます。

圧縮・硬化し、反りに敏感な箇所^①に最適な材に

材を50%程度、物理的に圧縮硬化させることで強度をあげ、ギター^②のネックや指板・ナットなどの反りに敏感で耐久性を求められる箇所^①に使用しています。この圧縮技術を用いて様々な楽器の繊細な部位^③に対応していきます。

